

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">親 師 会 報</h1>	<p><b>第 158 号</b></p> <p>発 行</p> <p>新潟県立新津高等学校 親 師 会</p> <p>☎0250(22)1920</p>
---	---

## 会 長 挨 拶 親師会長 因 俊 行



このたび、新潟県立新津高等学校親師会会長を拝命いたしました、因 俊行です。伝統ある本校の親師会活動を担うこととなり、その責任の重さを感じつつも、生徒の皆さんの高校生活を支える一助となれることを嬉しく思っております。

近年、私たちはコロナ禍という未曾有の状況を経験しました。多くの学校行事が制限され、PTA活動もまた十分な形では行えない時期が続き、保護者と学校、生徒を結ぶ関係は大きく変化しました。いわば、伝統的な親師会活動が一旦途切れてしまったようなものです。私自身、親師会役員3年目ですが、この間の活動は秋稔祭でのキッチンカー出店協力など、役員同士意見交換しながら手探りで取り組んできた印象があります。

そしてようやく社会全体が日常を取り戻した今、親師会活動も新たな形へと【再構築＝リビルド】していくことが求められています。これからの親師会は、単なる「役割」や「義務」ではなく、保護者が無理なく参加でき、子どもたちの成長を温かく見守れるような、柔軟で風通しの良い活動へと進化していければと考えております。行事や学校生活への協力を通じて、私たち保護者が子どもたちの頑張りを直接感じる機会を持つことは、何よりの喜びであり、同時に「教育」の一部でもあります。

高校3年間は、生徒にとって将来の基礎を築く大切な時間です。学業はもちろん、部活動や行事、日々の仲間との関わりの中で多くのことを学びます。その歩みを、親師会として学校と協力しながら温かく支えていきたいと考えております。保護者の皆さまにおかれましても、無理のない範囲で親師会活動にご協力いただけたら幸いです。そして皆さま一人ひとりの関わりが、生徒たちにとっての大きな力となります。皆さまからのご理解とご協力、新しいアイデア等を賜りながら、よりよい親師会を築いてまいりたいと思います。1年間どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

## 県高P連の講演会より 校長 小 林 英 明



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今年度も行事等を含め様々な活動を順調に実施できています。親師会の活動も、子どもたちを応援できるようご協力をお願いいたします。

さて、6月6日に県高等学校PTA連合会総会・研究協議会が開催され、因会長、田島副会長と一緒に参加してきました。講演会では、新潟食料農業大学教授の比良松道一様から、「人の絆と農を支える自炊力 ～だから「自炊」なんだ！～」と題してご講演いただきました。比良松先生は農学博士で、九州大学准教授を経て、現職を務められています。九州大学での人気講座「自炊塾」の特徴は次のとおりです。①レシピは配らない。②定員は25名の少人数セミナー。③調理は実習でなく、実演が中心。④15週間で40回以上自炊をする。⑤自炊記録

はフェイスブックに投稿する。⑥大学休校日や放課後の課外授業に参加する。⑦週1回1品持ち寄り昼食会に参加する。

大学生の特徴として、朝食は抜くか食べてもお菓子、ご飯よりパンや麺類を好む、食材から手作りした食事がほとんどない、1日の平均食費は数百円程度などが挙げられます。5kg2000円のお米はご飯1杯29円と言うと、学生たちは「意外に安い」と驚くそうです。今の5kg4000円のお米でもご飯1杯58円なので、菓子パン1個よりはるかに安いのです。学生たちは、「日本の農業は大切だ」「食料自給率の低さが心配」と言いますが、自らの食生活が日本の農産物を買って支えていると胸を張って言える状況ではないことにも気づいていないのです。災害時でも、長蛇の列に並んで手に入れた食べ物は菓子類などということがありますが、保存食を具にしてみそ汁と米さえあれば、しばらくは栄養に困らないでなんとか生きられます。

自炊塾では、家庭料理などの専門家による実演も多くあります。レシピや動画では表現できないことを読み取ることができます。伝承を促す3つのポイントは、①見よう見まね。②味と匂いの記憶（これは長期記憶になります）。③互惠性（互いを思いやる心）。手料理を通じた他者との関わりが幸福度につながります。食べる人のリアクションが大事です。また、農産物の作り手と食べ手の関係性も大切です。学校における食育でも、食べさせてもらうばかりでなく、やがて大学生、社会人となったとき、栄養のある食事をきちんととる人になるという長期的な視点が必要とのことです。そのような観点から、若者には自炊力を身につけてもらいたいです。「医は食に、食は農に、農は自然に学べ」だそうです。

結びになりますが、生徒たちの成長のためには、家庭、学校、地域の密接な連携が重要です。生徒一人一人の学校生活の充実と進路希望実現のために、職員一同、精一杯取り組んでいきますので、今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 進路指導室より

進路指導主事 小林 穰

### ○Classiの活用

今年度から個別最適化の学習補助教材としてClassiを導入しました。これまでのスタディサプリよりも取り組みやすい問題と、ベネッセの模擬試験の結果に連動した個別の問題配信が可能になることで、より個人個人が、今必要な力に焦点を当てた問題に取り組むことができます。少しの分量の問題なので、隙間時間でも取り組むことができ、また、解答後にはチャレンジ問題として正解者はひとつ上のレベルの問題数問に取り組むことができ、「これでいい」から「もっと解こう」といった気持ちになるような仕掛けが施されています。

また、保護者の方にもアプリのインストールとログインをお願いしたところですが、1、2年生は7月の模擬試験、3年生は6月のマーク模試から、模擬試験の結果をタイムリーに見ることが可能になります。また、志望校も見ることによって、お子さんの進路希望状況を把握し、一緒に大学進学に向けて取り組むことができます。お子さんとの会話の機会を増やしていただければと思います。また、保護者の方にとってほしい進学に関する情報などをお知らせとして配信していきますので、お時間をみつめて、ご覧になり、お子さんの受験を支えていただければと思います。

### ○デジタル化の加速

新津高校でもDXハイスクール事業を受けて、探究活動でICT機器を利用した研究に取り組むことができるようになってきました。お子さんにはiPadが配給されていますが、こういったICT機器の普及により、受験においても制度上の改革が生じています。

模擬試験の解答冊子はデジタル化し、志望校の登録もWebからの入力になっています。昨年度は、大学入学共通テストの自己採点集計登録をWebからの入力で行いました。今年度の大きな変更点は大学入学共通テストの出願手続きが、紙に記載するのではなく、Webでの入力に変わります。

これまでは、ボールペンで出願用紙に記入し、顔写真を貼り付けて、受験料の支払いを証明する用紙を貼って、高校でまとめて郵送による出願をしていました。今年からは個人個人がWebでの出願作業になります。写真はタブレットで撮影し、データをアップロードする。受験料はネット決済、受験票は自分でプリントアウトといった具合です。学校では3年生には9月初めに出席指導を行います。保護者の方にもお願いすることが多くなると思います。特に受験料の支払いについては保護者の方のご協力をいただくこととなります。よろしくお祈りします。

### ○自分で決める人生

毎年夏休みにはオープンキャンパスに参加するように生徒には指導をしています。実際に目でキャンパスを見て、可能なら大学の講義を体験し、先輩からの話を聞くなどの活動を通して、生徒は「その大学に入りたい」と思う気持ちを最も強くするといったアンケート結果もあります。実際に見たことのないものに対して現実味がわからないものです。コロナ禍の制限も弱まり、対人でのイベントも多く行われるようになりました。大学に行き、キャンパスを見て、その魅力を肌で感じることができたら、学習意欲に火が付くこと間違いありません。保護者が参加できるオープンキャンパスも増えてきています。大学がどのような考えで生徒を育てようとしているのか、大学卒業後どのように活躍している生徒がいるのか。また、大学生活に必要な経費を少なくする方法など、さまざまな面のお話をぜひ聞いてください。

### ○受験はこどもと一緒に

試験を受けるのは子ども達ですが、受験は親子、家族で取り組むものです。勉強以外の面で周りには本人が取り組みやすい環境作り、受験勉強のつらさの理解、大学の募集要項の読み込みなどの協力をを行い、子どもには学習だけに集中してもらいたいところです。自分では勉強しなければならないと思っているのに、家族からのお出かけの誘い、勉強しているのに、テレビの音が大きく聞こえてくるなど、環境として好ましくない状況になることで、学習意欲が低下してしまうことが多くあります。決して周囲が「勉強しろ」と言って欲しいのではなく、子どもの「やる気」をそがないような環境作りと、声かけをしていただければと思います。学校にいれば勉強するのは当たり前、家庭に帰って、休むことはもちろんですが、一日の半分以上の時間を過ごす家庭における学習時間は受験の結果に大きく影響します。

ご家庭での受験に対して理解していただくためにも学年懇談会や説明会を対面で開催しますので、お時間を作っていただき、会場へお越しいただきたいです。コロナ禍では動画配信で実施していましたが、コロナの5類移行にあわせて対面での説明会やガイダンスを実施します。会場で直接話を聞く機会を進路指導部としても設定しています。回数は少ないですが、ぜひともお時間に都合をつけていただき、疑問点などをどしどし聞いてほしいと思います。これからの夏休みの3者面談、3年生は12月の3者面談もあります。全体での機会は少ないですが、その時期に適した内容を提供していきますので、ご協力お願いします。

## 編集 後記

4月7日(月)、新津高校に240人の新生と新任の先生方をお迎えし、令和7年度の学校生活が始まりました。コロナの影響も収束し、様々な行事が通常の形で行われています。6月の体育祭も大勢の保護者の方が見守る中、大盛況で実施することができました。今年は総合1位のチームに親師会より副賞を送り、生徒たちには嬉しい思い出になりました。

原稿をお寄せいただいた方々、撮影に協力していただいた方々、本当にありがとうございました。親師会報が生徒の皆さんと保護者、そして職員をつなぐ一助となれば幸いです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。